

てんぎょう 轉教

2017 **11** NOV

平成 29 年 11 月 1 日発行
第 18 卷第 11 号 通算 213 号
編集兼発行人 山本 久男
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺
〒 113-0021
東京都文京区本駒込 6 - 6 - 11
☎ 03-5319-3490
FAX 03-5319-3491



(Web 版)

信のとびら

続ける工夫

水谷 随 歓

「あまだれ石をうがつ」と諺ことわざにあるように、微力なものも積もり重ねれば大きな力になるものです。

「成仏は持つたもつにあり」で、持つたもつとは持続すること、続けなければ所願しょうがんは

成就じゆうじゆしません。世間のことも同様です。そのためには、持続させる為の工夫が大切です。

ぞん 存し、孟子もうしの言葉に、「天てんに従したがうものは天てんに逆さからうものは亡ほろぶ」とあ

ります。天道を無視し、それに逆行するものは結局亡びさるといふ事です。ですから、永続させようと思えば、天道を無視したような行為は慎んで生きることが大切です。

御教歌に「はなつ矢の弓いいる程はのぼれども のぼり果てねばおつといふなり」とあります。弓を満月の様に引きしぼって力一杯放った矢も、その力相応の高さに行きついて限界に達すれば、そこから真逆さまに落ちてきます。次から次へと続けて力を加える事が出来なければ

ば、ある点までは昇ってもそこが終点で転落し始めます。

兎と亀の競走の話にある様に、力のあるものは、一気に突進するかわりに疲れが早くきます。或いは、優越感にひたつて気がゆるみ、道草を食って目的を忘れ時間を無駄にしてしまうかもしれません。その間に微力のものがコツコツと努力を重ね追いついていくということになります。ですから、手腕のあるなし、力の強弱よりも、むしろ持久力の有無が大切です、成功するための鍵

です。

では、人間がコツコツ不眠不休ふみんふきゆうでいつまで物事を続けられるか。当然、限りなくは出来ません。適当な休養が必要です。例えば、夜の睡眠が明日の活力となるということですね。休んでも、次々に手順良く立ち上る工夫をすれば、持久戦をうまく戦いぬけるでしょう。

新教化の育成も、御本尊の奉安ほうあんで終わりではありません。信心を擲つかんでももらうべく、次から次へと親切心を振り起こしましょう。育成の手を

積極的に打ち続けることが肝心です。中途半端で手を抜くと、折角の教化きょうけつこ子も育成不成就となってしまう。

コツコツと続ける為には、上手に休んで次につなげていくのが大事です。休み方を工夫しましょう。そして持久力のあるご奉公をさせて頂きましょう。

当宗の信心は、朝は題目で始まり夜も題目で締めて休みます。その繰り返しは修行です。そこに大事な教訓があるのです。

11月のご奉公のすすめ

今月は、高祖日蓮大土御尊像のお綿かけの季節です。年末までに、教区内全信徒宅のご本尊

お塵払いもすすめましょう。各家庭の伝統行事の一つとして定着するよう、根気よく御祈願をかけ家族の協力を得る努力を続けましょう。

信行相続の為の大事なご奉公と心得て実行してください。

一、随喜轉教について

開講本旨再興を願う妙應寺は「どんな問題も御宝前にご祈願をかけて乗り越える信心を身に付けること」を勧めています。

皆で他人の幸福を願う祈願と口唱にはげみ活気あふれるご奉公をさせて頂きましょう。

- ・「開講本旨再興」祈願朝参詣 週間 1日(水)から7日(火)
 - ・「開講本旨再興」祈願口唱会 26日(日)午前9時半
- ◆来年度への引き継ぎについて

- 11月、12月中に、
- ① 乙祥月御講報告書12ヶ月分
 - ② 来年度の年間御講席主予定表
 - ③ 「応援祈願」経過報告
- を引継ぎ書類として今年の受持ちお講師に提出願います。

11月の寺内行事予定表

1日～7日	開講本旨再興祈願 朝参詣週間
1日(火)	開講本旨再興祈願総講
4日(土)	運営会議 午前9時半
7日(火)	信徒講習会 午前9時半
11日(土)	連合幹事会 午前9時半
〃	後続者育成連絡会
12日(日)	団参・三島聞泉寺 午前10時半
13日(月)	高祖会 担当第三地区 高祖大土御命日総講 午前10時半

二、信徒講習会

本年度第二回信徒講習会が左記の日程で開催されます。テーマは「口唱のしかた」と「百日参詣体操」です。より良いお看経を身につけられるよう積極的に参加して下さい。

11月7日(火) 午前9時半
11月18日(土) 午前9時半
11月26日(日) 午前11時

三、七五三無事養育成長御礼言上

11月19日(日) 午前11時より
本堂にて七五三無事養育成長のお礼言上式が奉修されます。子供達の成長に感謝し皆でお礼のお看経をいたしましょう。

四、三島間泉寺団参

11月12日(日) は三島間泉寺の団参です。当番参詣は第三地区です。大勢でお参詣させて頂きましょう。他地区の方々も応援参詣させて頂きましょう。

五、御本尊拝受御礼御講

11月、12月の甲御講で自動車御本尊・懐中御本尊・ロケット御本尊等拝受者の御礼御講を併修させて頂きます。この機会に必ず諸御本尊のお塵払いをさせて頂き、ご不敬がそのままにならないよう気を配って下さい。尚、使用されない御本尊はお寺に返納することをおすすめします。

17日(金) 開導聖人御命日総講

午前10時半

18日(土) 信徒講習会

午前9時半

19日(日) 七五三無事養育成長御

礼言上式 午前11時

25日(土) 門祖聖人御命日総講

午前10時半

// 正副教区長会

午後0時半

一地区…1階ホール

二地区…和室

三地区…2階ホール

26日(日) 開講本旨再興祈願口唱

会 午前9時半

// 若い人の口唱会

午前10時半

// 信徒講習会 午前11時

■蓮華会・くんげ会合同御講

12月3日(日) 10時～13時

《本堂》御看経・御法門

10時30分～

《2階ホール》お話し

「御宝前のお道具・お数珠」

ご供養、レクリエーション

参加費 200円(3歳以上)

■お寺で成人式

平成30年1月21日(日) 11時～

《本堂》

式典

《2階和室》

祝賀会

成人対象者

平成9年4

月2日～平



成10年4月1日生まれ

成人対象の方に出席(スーツ

等平服で)ならびに御礼言上、

ご祈願をお奨め下さい。

■年末・年始諸行事

・12月31日(日) 午後4時

年末御礼御看経

(終了後年始諸行事準備)

・平成30年1月1日(月・祝)

元旦会 6時半～8時

六角堂初御看経 10時

(バス2台出発8時半 帰着12時半)

・1月3日(水) 10時半

初総講、担当教務紹介、

祝杯式、新年ご挨拶

” 12時半～

教講初顔合わせ



御戒壇の漆化粧塗が完成しました

御戒壇を飾る四本の寄木。これには漆による化粧塗がされていますが、更の上塗りと補修塗装を実施しました。

これにより、装いも新たに、美しく、光り輝く上塗りが完成しました。これで一層お看経に力が入るといふもの。

和の伝統的色彩に、モダンな形状がひとときわ映え、お祖師様のお顔が嬉しそうです。

お寺で甲の御講

最近、お寺での甲の御講の奉修が増えています。下の写真は連合のお参詣者十六人に、長野など他教区からのお参詣が十名。活気あるお講席でした。



渋谷・港連合 甲御講 席主大吉一秀さん

秋季彼岸総回向〜この機に改葬をさせて頂きますよう



9月23日（土祝）10時から本堂で、今年も先祖ならびに御縁の方々を思い、大勢の方が御参詣されました。霊堂には沢山のお塔婆が奉呈され、御看経の後に御導師よりご挨拶をいただきました。

その後、六角堂に移動して御看経。続いて、山本事務局長よりお話がありました。「この時期六角堂にお参詣させて頂きますと、曼珠沙華の花が咲き乱れ、金木犀の香りがする

誠に素晴らしい環境を整備して頂き、関係者の皆様に感謝申し上げます。

先日乗泉寺に、改葬の手続きのご奉公で伺いました。佛立本旨講妙應寺に関心がある話題を、乗泉寺の教務さんが話をされました。

特に八王子と世田谷別院にお墓のある方は、跡に残ったお子さん、お孫さんが、『お墓を守っていけば、信心を相続している』と思ってしまうば、どうなるのでしょうか。この機会に『六角堂への改葬』将引のご奉公を是非お願いします。お手伝いは、事務局まで申し出て頂ければ、ご奉公させて頂きます」

平成29年9月の寺内行事報告

1日〜7日 開講本旨再興祈願朝参詣週間

1日(金) 開講本旨再興祈願総講

を午前10時半より奉修

2日(土) 運営会議を午前9時半

より開催

// 秋季彼岸総回向ご回向

お塔婆申込締切

3日(日) 竜の口御法難記念五時

間口唱会を午前9時半

より奉修

9日(土) 連合幹事会を午前9時

半より開催

// 後続者育成連絡会を午

前10時半より開催

男子信徒お助行〜妙應寺を支える底力

9月20日、本堂で男子信徒助行が開催されました。西部連合5名、杉並連合3名、品川連合2名、豊島・都・千葉連合各1名、さらに地方から小田原・栃木・

水戸各教区からそれぞれ1名の総勢16名の参加者がありました。佐藤

水戸各教区からそれぞれ1名の総勢16名の参加者がありました。佐藤

水戸各

教区か

らそれ

ぞれ1

名の総

勢16名

の参加

者があ

りまし

た。

佐藤

応昇師に御導師を勤めて頂き、

法鼓ほうこを参加者が交代でご奉公さ

せて頂きました。

御看経後、人間教区塚田広道

さんに甲御講で発表した喜びの

報告をしていただきました。

その後、場所を変え食事・懇

談会を行いました。皆さん

の自己紹介を含め、多いに盛り

上がりました。この時、また男

子信徒助行を行いますようにとな

り、12月20日(水)11時よりお寺で

開催することになりました。

これからも将引を重ね、男子

信徒の仲間が増加するよう願っ

ています。

13日(水)

高祖大士御命日総講を

午前10時半より奉修

17日(日)

開導聖人御命日総講を

午前10時半より奉修

20日(土)

秋季彼岸朝参詣週

間

23日(土・祝)

秋季総回向法要奉修

本堂午前10時

六角堂午後0時半

24日(日)

高祖会奉修費、御供米

料奉納、参詣人数申込

締切

25日(金)

門祖聖人御命日総講を

午前10時半より奉修

// 正副教区長会を午後0

時半より開催



自然の大切さを学んだ第二地区鍊成会

本堂にて10時より御看經、糠谷信章師から御看經の仕方について法話と日尚上人による新入信者への「三和合の口唱」プリントを頂きました。

その後、二階和室にて「水源の自然、森と生き物たち」につ



いて講演を、かながわ東教区・

長濱陽介氏よりいただきました。若いころは荏原教区で両親と共にご信心されていて、大卒後は群馬県水上で自然の中で動植物を愛し、自然の素晴らしさ、大切さを皆さんに知っていたらきたいと、ネイチャーガイドをされています。

講演はスライドを使い、楽しく分かり易いお話をしていただきました。

木に付いた熊のつめあと、キツツキの穴、地面のカモシカの足跡などを紹介し、実際の木の実や松ボツクリを皆さんに実際

に手に取って見てもらい、何の動物が食べた跡なのか等について、楽しいお話をお聞きしました。

また、リンゴ農家が大量にリンゴを捨てたことがあり、これが動物にエサを与えたことなるため人家近くに熊、イノシシ等が来て、危害の危険があるため処分方法を変えてもらったそうです。人間と動物の共存を考える印象的な話でした。

都会に住んでいると、このような事はわからない話であり、自然の大切さを考え、大変ですが、すがしい気持ちになり、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

お教化特集

初めての教化

安藤照志師

昭和三十年の九月頃でした。父の造園業を継いで一生懸命仕事をし、休みの日はお寺参詣、部長のご奉公をさせて頂く、そんな毎日だったように思います。

仕事にご奉公にと一生懸命にさせて頂いている姿を見ていたかなのかと感じました。そして、すぐに入信することになりました。

そんなある日、お世話になっているガス屋さんがプロパンガスの交換に来て、仕事が終わった後いつものようにお茶を飲みながら話していました。すると突然「私も安藤さんのやっている信心がしたい」と言いだしました。その時はなぜだかわかりませんでした。いつも私が、

数日後、御本尊をお供してガス屋さんの家に行ってみると、立正佼成会の人達が五、六人いて、びっくりしました。違う信仰をしている事を知らなかったのです。立正佼成会の人、信心は仲良くすればいいのではないかと、代わる代わる言ってきました。しかし、普段物静かなご主人が、「いや、私は本門佛

立宗をどうしてもしたいから、引き取って下さい」ときつぱり言い、頑として変わりませんでした。これ程、信の強い人なのだどびっくりしました。すると、立正佼成会の人達はすぐごと帰っていきました。

そして、教務さんに御本尊をお祀りして頂き、御看経が終わった時、私は「これでよかったです」と晴れ晴れとしました。ガス屋さんには、昔からお世話になっていましたが、ご主人は福島島の田舎から東京に出てきて苦労した話なども聞いていたのです。お互い、ご信心の繋がりが出来て本当に良かったと思えました。

■私のよろこび

受験の経験から

長野教区 Kさん

高校受験から約5カ月が過ぎました。受験の時には、教区の方々がご祈願をかけて下さり、ありがとうございます。受験前は、ばあちゃんと一緒にお参りをさせていただきました。今は、SS高校の工業科に通っています。自転車で、45分くらいで通学しています。

今日までの間に中間、期末考査そして、計算技術関係がありました。テストでは、中学校でとったことのない点数をとったり、検定も見事合格しました。友達もたくさんでき、楽しい

高校生活をおくらせてもらってます。毎日、母さんにお弁当を作ってもらったり、自分の自転車通学のご祈願もかけてもらっ

■私のよろこび

どんな問題も

早いもので、母が亡くなってもうすぐ1年になります。いまだにさみしい気持ちですが、ご回向やお看経など、母のためにやってあげられることがあると思うと、ありがたくご宝前に話しかけながら、毎日お給仕をさ

てます。これからも勉強を頑張る、自分でも交通安全に気を付けて、楽しい高校生活をおくっていきたいと思います。

そして、これから受験する人のためにご祈願をかせせてもらおうと思います。

さがみ原教区 Mさん

せていただいています。

皆様には、生前からたくさんのお祈願、お助行、また亡くなった後には、ご回向をしていただき、感謝申し上げます。

私は現在、家でピアノを教えたり、保育士と医療事務の仕事

をさせていただいてます。母が亡くなってから状況が変わり、今までの医療事務の職場を続けることが難しく、ずっとご宝前に最良のお計らいのご祈願をさせていただいていました。

おかげさまで6月には円満に退職することが出来ましたが、その後私の都合にあった別の医療事務の仕事がなかなか決まらないまま7月になってしまいました。

丁度夏期参詣が始まったので、気持ちを切り替え、お寺参詣に励もうと決定し、お参詣し始めたら、思いがけず3日目に、以前に断られた病院の先生から「まだお仕事が決まっていなかったら、ぜひ手伝ってほしい」

とお電話をいただきました。

その病院は私の家から近く、私の希望に最も合っている職場だったので、強くお計らいを感じ、勤務させていただくことに決めました。

子供も、その様子を見ていて、「夏期参詣を始めて3日目でお計らいをいただくなんて早いね」とびっくりしていました。勤め始めて、まだ2カ月位ですが、とても働きやすい病院でホッとしています。

ピアノ、保育士、医療事務の3つのお仕事をやる中で、できるだけ、時間を作ってお寺やお講などお参詣させていただき、ご奉公もさせていただきたいと思っています。又、息子の涼も

大学で尊敬する先生のセミナーに入りたいと希望していました。が、取っていただけるかどうかで悩んでいました。「お寺参詣してご祈願したら！」とアドバイスをしたところ、翌日さっそくお寺にお参詣し、ご祈願させていたいただいたら、数日後発表があり、希望通りのセミナーに入ることが出来ました。

何かあった時にはまず、ご宝前にご祈願をして、おあずかりし、成就したら、お礼参詣をさせていただきますという事が身に付けているようで、早速お礼参詣させていただいていました。子供達が素直にご信心をいただいていると感じ、大変うれしく思いました。

主人の年回法要を機に

所沢教区 Iさん

Tさん宅のお助行をさせて頂きました。子供さんは、長男と長女の二人で、二人とも結婚しています。信行相続はできていないそうです。

Tさんは毎日、信行相続の祈願をしています。子供達とは一緒に住んでいないので、ご信心の話はなかなかできないそうです。Tさんの長男には、三人の子供がいて、その次男にも子供がいるので、Tさんからみる

と曾孫ひまごです。昨年、T家の年回を自宅でした時は、二人の子供さんと、お嫁さんと三人のお孫さんが参詣できて、教区の方々と顔見知りになったそうです。

来年は、御主人の年回が控えているので、これを機会に家族全員がお寺参詣できるように、お寺でさせて頂こうと願っています。子供や孫、そして曾孫ひまごにご信心を伝えたいとの思いです。

五時間口唱会での法鼓のご奉公

朝の勤行での法鼓のご奉公は約45分ですが、実際に言上などがあるため休み休みとなりません。

口唱会での持ち時間は20分ですが、連続のため結構疲れます。26人のご奉公者のみなさん、ご苦労様でした。



★こどもたちの会★

不安な気持ちも楽しみに！



